欄に記入してください
1844. HEV 10 1 11.CC

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社ダイセル 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市東栄二丁目1番4号

(3)業種

1631 石油化学系基礎製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和元年度(2019年度)を基準年度とし、令和2年度から令和4年度(2020年度から 2022年度)までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO₂),削減率(%)

温室効果ガス の種類	基準年度実 排出量(a)	目標年度 上段:見込量 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
	平成28年度	平成31年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源C02		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標: 生産量(チトン)

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段:目標 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
7 12/90	令和元年度 2019年度	令和4年度 2022年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	年度	年度
エネルギー	1 625 2	1, 547. 0	1, 549. 9	1,620.0	1, 552. 0		
起源C02	1, 635. 2	5. 4	5. 2	0.9	5. 1	100.0	100.0
非エネルギー	840. 2	893. 3	928. 7	1, 045. 1	1, 119. 4		
起源C02	040. 2	-6. 3	-10.5	-24.4	-33.2	100.0	100.0
メタン	0. 70	0.75	0.75	0.67	0.9		
777	0.70	-7. 0	-7.0	4. 9	-29.4	100.0	100.0
一酸化二窒素	443. 8	437.8	427.0	469. 5	463. 3		
政儿—至亲	445. 6	1. 4	3.8	-5.8	-4.4	100.0	100.0
フロン類	フロン類 0.10	0.09	1. 18	0. 13	0. 2		
ノロン規	0.10	10.0	-1, 080. 0	-30.0	-90.0	100.0	100.0
温室効果ガス	温室効果ガス 2,920.1	2879. 0	2, 907. 5	3, 135. 4	3, 135. 8		
排出量総計	2, 920. 1	1. 4	0.4	-7.4	-7.4	100.0	100.0
エネルギー消費	ベルギー消費 単位(原油換 452.0 算kl)	426. 6	429. 3	397. 5	385.0		
		5. 6	5.0	12. 1	14.8	100.0	100.0
生産量は省エネ法基準の売電分を含め、自己託送を含めない。 実績に対する 2022年度は基準年度と比較し生産量が減少したため、温室効果ガス排出量総計における原単位実績 自己評価 年度に対し増加した。			実績が基準				

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

_	○ 価重効未及への排出抑制に回りた収組み					
	項 目 削減量等		具体的な取組み			
1		原油換算 9,481 kl/年の 省エネルギー(令和4年度)	石炭ボイラーでの廃タイヤ燃焼、機器温度 設定最適化による省蒸気、省電力機器への 更新、用役使用率の改善、蒸気ロス等の再 発防止			
2						
3						
4						

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

\cup	価主効未みへみなし排出重り抑制に関する取組み	(界児伽旭の6月寺)
	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物のリサイクル推進	リサイクル率 99.94 % (令和4年度実績)	ボイラー廃棄物のセメントリサイクル の推進継続
2			
3			

[※] 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。